

# アベノミクスで広がる格差・貧困 国の悪政から命・くらしを守る区政を



区議会本会議で質問する浦野さとみ区議

アベノミクスが始まって4年、賃金低下は年額19万円、家計消費も15か月連続で実質マイナス。国民生活基礎調査では、生活が「苦しい」と答えた人が6割にも。超富裕層がますます富み国民全体の所得が低下、中間層が疲弊し、貧困層が増大しています。

## 中野区 区民の苦難よそに 大型開発のめり込み

区は、介護給付の削減や就学援助の切り下げなど安倍自公政治のツケを区民に負わせながら、中野駅周辺の大型再開発には予算の大盤振る舞い。区役所・サンプラザの一体再開発のための区役所庁舎移転に、自・公・民は賛成しました。これらの敷地を開発業者に売り渡そうというのです。

共産党は、区民に寄りそう区政への転換を求めています。(詳細は2面)

## 悪政もちこみに各分野から区民の反撃 区民の声と結び議会で論戦 **日本共産党**

突然の区立保育園の民営化に対し、保護者から出された議会陳情。自・公・民などによる不採択に、怒りの声がやみません。新校になっても学校設置基準に満たず、3年～6年も仮校舎に押し込める統廃合計画に、区民・団体が立ち上がっています。利用者を無視した地域図書館の統廃合。署名・パレードの開催など

反対の取り組みが広がっています。住民参加と住民自治を踏みにじる強引な平和の森公園再整備。「緑と広場を守れ」の運動は、ますます広がりをみせています。党議員団は区民の運動と力を合わせ議会論戦を展開、対案を示し奮闘してきました。区民の願いに応えさらに力をつくします。

## 安倍政権 「派兵は違憲」の世論に押され 南スーダンからの撤収表明

2月20日、区議会本会議で浦野さとみ区議が自衛隊派遣の中止について区長の姿勢をただしました。区長は「政府が適切に判断している」と、まるで他人の姿勢です。3月13日、政府は南スーダンからの陸自撤収を発表しました。派兵反対の国民世論の中、これまでの説明を自ら否定した形です。撤収は5月末ではなく直ちに行うべきです。

## 豊洲移転の「闇」を解明し 真の都政改革へ

共産党都議団は当初から専門家らと独自調査を行い、市場関係者らとともに移転見直しの立場で都政をただしてきました。昨秋、共産党の調査で「盛り土問題」が発覚。党都議団は調査権限が強い百条委員会の設置を繰り返し求め、反対していた自民・公明・民進・ネットも、ついに設置に転じました。党区議団も区民の食の安全を守れと、「移転中止を求める意見書」を区議会に提案するなどしてきました。

## みなさんの声が生きる区政めざし全力



**来住 和行**  
● 党区議団副議長  
● 建設委員会(副委員長)  
● 少子高齢化対策調査特別委員会



**広川 まさのり**  
● 子ども文教委員会(副委員長)  
● 少子高齢化対策調査特別委員会



**羽鳥 だいすけ**  
● 区民委員会  
● 区内駅周辺等まちづくり調査特別委員会(副委員長)



**長沢 和彦**  
● 党区議団幹事長  
● 総務委員会  
● 区内駅周辺等まちづくり調査特別委員会



**小杉 一男**  
● 厚生委員会  
● 区役所及び体育館整備調査特別委員会



**浦野 さとみ**  
● 党区議団副幹事長  
● 厚生委員会(委員長)  
● 区役所及び体育館整備調査特別委員会



**いさ 哲郎**  
● 子ども文教委員会  
● 区内駅周辺等まちづくり調査特別委員会

国民の心も対話も処罰の対象「共謀罪」「テロ等準備罪」ストップ!

## 日本共産党中野区議団ニュース Q 日本共産党中野区議団 メールはホームページから